

令和2年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

担当課係	危機管理課 防災担当
------	------------

事務事業名	災害対策事業		事業予算費目		
総合計画上の位置付け	政 策	① 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	款	9	消防費
	基本目標	1. 安全・安心なまちづくり	項	1	消防費
	施 策	1-1 安全・安心な日常生活の確保	目	4	防災対策費
	基本方針	1-1-1 防災・減災対策の推進	事業	3	災害対策事業

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	地震、風水害をはじめとする各種災害時における被害の軽減を図るための応急対策を迅速かつ的確に実施するため、防災体制や資機材等を事前に備え、市民生活の安全を確保する。	事業の内容	総合防災訓練の実施や防災関係機関等との連携強化を図ること で、災害時の迅速な応急対策の実行に努める。また、各種災害対応マニュアル等を改訂するとともに、避難所における防災機能強化を推進するため、備蓄食糧や資機材等のさらなる整備を図る。
-------	---	-------	---

■事務事業の業績・推移（DO）

成果指標	指標名	単位	実績		目標	目標		
	指標の説明		R1	R2	R3	R4		
	防災訓練・防災講話実施回数	回						
	実施回数		目 標					
			実 績	35	15			
関連事業費	R1年度決算		R2年度決算		R3年度予算		市民一人あたりのコスト	
	財源内訳	事業費	18,380,285	34,519,592	14,762,000		R1	486
		国県支出金	6,291,000	6,342,000	3,608,000		R2	927
		地方債					各年度4月1日現在の人口	
		利用者負担・その他					R1	37,795
一般財源	12,089,285	28,177,592	11,154,000		R2	37,243		

■評価（CHECK）

事業の方向性	○	拡 充	縮小して継続	判定理由 近年、激甚化・頻発化する自然災害等に対して、迅速な災害対応が市に求められている現状である。また、今後起こり得る南海トラフ地震に対応するためにも、平時から必要な物資・資機材等について計画的に備蓄を行い、災害に対する備えについて継続して取り組む必要がある。
		改善・効率化し継続	休止・廃止	
		現状のまま継続	完了	

■改善・効率化の方向性（ACTION）

今後の課題	複合化する大規模災害に迅速かつ的確に対応するため、地域防災力の向上と総合的な危機管理体制の充実・強化が求められる。また、災害時に避難所生活を送るうえで必要不可欠な乳児用ミルク、生理用品、紙おむつなど、避難者のニーズに応じた物資や感染症対策に必要な資器材等を今後新たに備蓄していく必要がある。
今後の方向性	各種災害対応マニュアルに基づいた職員を対象とした実践的な訓練等を実施するほか、警察や自衛隊などの防災関係機関との連携・協力体制の確立に努めるとともに、民間団体等と災害時における支援協定等の締結を推進することで、総合的な防災体制の強化を図っていく。